

2-3 科学番組放送・科学技術映像コンテンツ発信

映像は、受け手に伝えたいイメージ・内容を、音声と合わせてダイレクトに届けることができる、非常に強力な媒体であり、科学技術理解促進活動においても可能なかぎり活用したいツールです。とはいえ、多くの方は日常的にさまざまな映像に接しており、視聴者に教材や娯楽の対象として選択してもらうには、相当の工夫や努力が必要です。活動主体は、コンテンツの趣向や品質、伝達手段といった面で、積極的に差別化をしていかなければなりません。恐らく最も重要なのは、コンテンツの品質を高水準で維持することですが、そのためには番組制作関係者のモチベーションへの配慮も求められます。

(1) 「楽しみながら科学に触れる」ことを重視

① 楽しみながら科学に触れる番組として、ドラマやアニメも提供

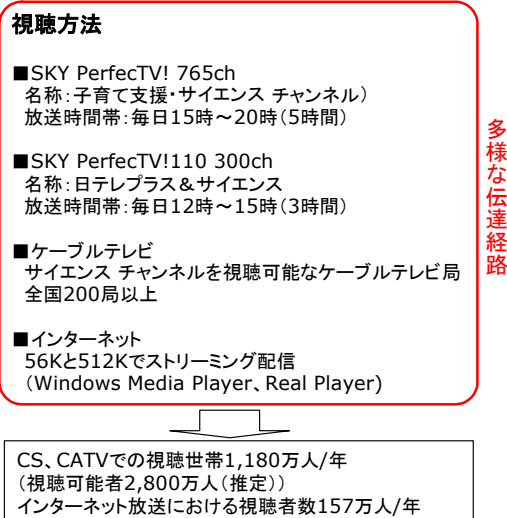
科学技術振興機構（JST）が提供する「サイエンスチャンネル」は、青少年をはじめとする一般向けに、科学技術の幅広いテーマに関する番組を制作・放送しています。サイエンスチャンネルでは、楽しみながら科学に触れることができる番組づくりを重視する姿勢で、解説、ドラマ、アニメ、学習教材など多様な番組を提供しています。国内外の映像祭で毎年のように高く評価され、受賞しています。

(2) 多様なメディアへの対応

① CS、CATV、インターネットと多様なメディアを活用

サイエンスチャンネルは、CS 放送、CATV のほか、インターネット放送¹でも番組を提供し、多様な伝達経路を確保しています。

■サイエンスチャンネルの伝達経路



(出典) 科学技術振興機構の資料に基づいて(株)ノルドが作成

¹ 科学技術振興機構「サイエンスチャンネル」インターネット放送、<http://sc-smn.jst.go.jp/>

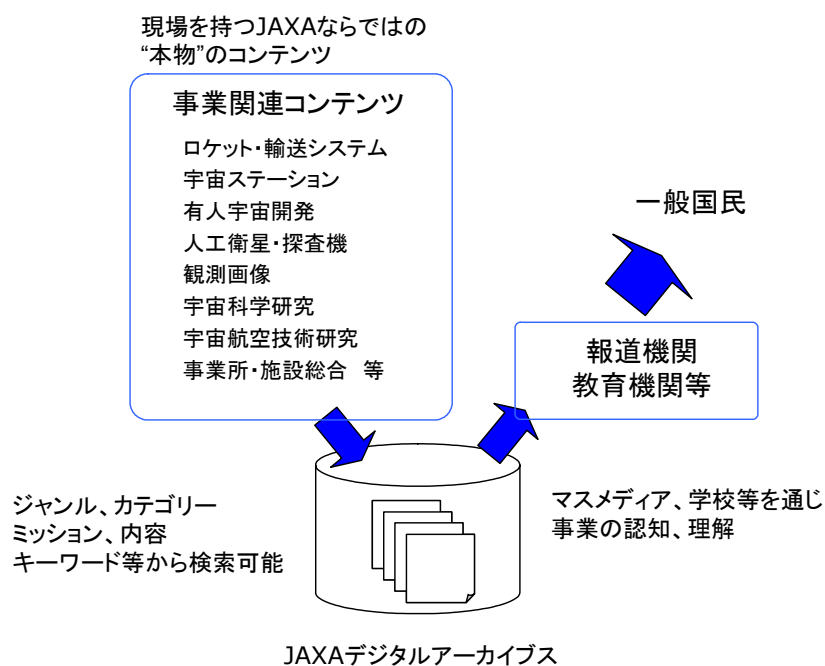
また、宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、ポッドキャスト、ビデオポッドキャストを使ってさまざまなコンテンツを配信しています。多様な専門家を招いての講演会「JAXA マンスリートーク」や各種シンポジウムの模様のほか、スペースシャトルの打ち上げ映像なども提供しています。

(3) 利用可能なリソース・機会を最大限に活用

① 研究開発機関ならではの写真・動画アーカイブを一般向けに提供

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、「JAXA デジタルアーカイブス」²サービスを通じて、広報用に公開・管理している写真・動画を提供しています。資料的価値の高いコンテンツをオンデマンドで提供することによって、報道機関や教育機関などがこうしたコンテンツを使用し、事業に対する理解が進むというものです。このような形で手持ちのデジタルリソースを最大限に活用することで、理解増進効果を獲得しています。

■ JAXA デジタルアーカイブスの考え方



（出典）宇宙航空研究開発機構の資料に基づいて㈱ノルドが作成

② イベント（実演展示）の映像をインターネット上で配信

産業技術総合研究所（産総研）では、「産総研つくばセンター一般公開」を毎年夏に実施し、その中の実演展示で利用している Google Earth³用ファイルやウェブカメラの映像を公

² 日本宇宙航空研究開発機構「JAXA デジタルアーカイブス」、<http://jda.jaxa.jp/>

³ Google 社の、検索技術を衛星航空写真や地図などと組み合わせて地理空間情報を提供するソフトウェア。

開しています。これらを組み合わせると、インターネット上で実演展示の様子を見ることが出来ます。

(4) 制作者のモチベーションに配慮する

① 視聴率の縛りを外すことで、番組制作関係者のモチベーションが向上

サイエンスチャンネルの番組制作は、民放に比べて視聴率の縛りが厳しくないことから、制作関係者のモチベーションは高く、番組の品質も高い評価を受けています。この事例では、こうした結果を意図していたわけでは必ずしもありませんが、内容にこだわることを望む番組制作者共通の思いを汲むことは、番組の品質向上につながりうる、ということを示唆するものだといえます。

☞ チェックポイント

- ① 番組／映像コンテンツのターゲット（対象）は明確ですか。
- ② 番組／映像で扱うテーマ・内容は、ターゲット層の関心・ニーズに合っていますか。
- ③ 研究内容と社会・生活との関係や、研究をめぐる人間ドラマなど、一般市民が関心を持つものになっていますか。
- ④ 番組内で使用している用語は、一般の人でも理解できるように配慮されていますか。
- ⑤ 魅力を感じさせる演出や工夫が十分に施されていますか。
- ⑥ 番組を制作している人のモチベーションに配慮していますか。
- ⑦ 視聴者との対話機会・手段が確保されていますか。
- ⑧ 番組／映像コンテンツについてのプロモーションは十分に行っていますか。
- ⑨ 番組／映像コンテンツの伝達・配信手段に不備はありませんか。
- ⑩ 番組に対する評価を行い、改善に役立っていますか。